

# 図書館新聞

- ・学生図書委員会クイズ
- ・おすすめの1冊
- ・卒業生からひと言
- ・図書館展示特集
- ・2024年の活動記録
- ・編集後記

28



# 学生図書委員会クイズ

図書館に関することや、学生図書委員会の活動を少しでも知ってもらいたくて、クイズを考えました。楽しんでいただけたら嬉しいです。

## 問 1

12月に開催された紅白図書合戦、  
今年度勝ったのは紅組と白組どっち？

## 問 2

今年度の学生図書委員会の活動で、おはなしレストラ  
ンライブラリーと一緒に行うイベントを行った。  
○か×か

## 問 3

島根県立大学松江キャンパス図書館/学生図書委員会  
のインスタグラムのユーザーネームのつづりは  
「gakuseitoshō」である。 ○か×か

## 問 4

学生図書委員会の選書で選ばれた本、  
背に貼ってあるラベルは何色？

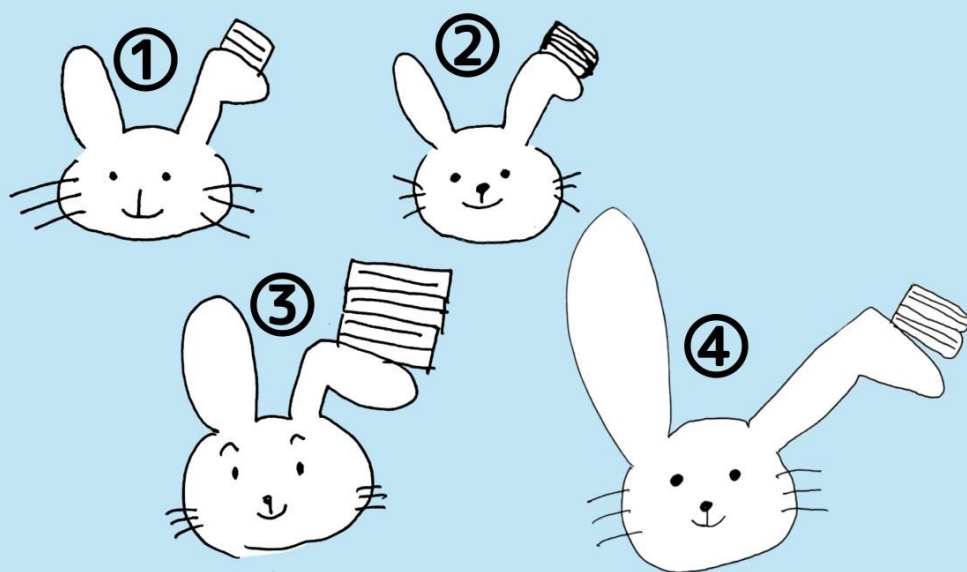
## 問 5

図書館の棚やカウンターのところどころ  
にあるかわいい置物。茶色いこの子たち  
は何匹で集合しているでしょうか。



## 問 6

図書館のキャラクターらぶちゃんを職員さんに描いていただきました。  
どの職員さんが描いたものでしょうか？それぞれ選んでください。  
職員さんは北井さん、野々村さん、池田さん、野津さんです。



答えは、次のページへ！

## 答え

### 問1 答) 紅組

昨年まで白組が勝ち続けていましたが、今年はついに紅組が！次回はどちらが勝つでしょうか。

### 問2 答) ○

「おはなしマラソン」と「おはなしクイズ」を行いました。一般の方はもちろん、学生も参加できます。ぜひたくさんの方に参加してもらいたいです！

### 問3 答) ×

答えは「gakuseitosyo」

ちょっとだけつづりを変えたいじわるな問題になってしまいました。すてきな投稿がたくさんありますので、ぜひフォローして見てください～。

### 問4 答) 緑色

図書館の書架を見てみるとちらほら緑色の背ラベルが。この本選書なんだ！と書架を歩いてみるのも楽しいかもしれません。

### 問5 答) 5匹

季節ごとで少しずつ飾りが違う図書館のカウンターは、足を運ぶだけでわくわくします。その中でも、年中いるのがこの子たち。冬は鍋を囲んでいたりと、時折こそこそ会議をしていたり。

### 問6 答) ①北井さん ②池田さん ③野津さん ④野々村さん

図書館のキャラクター「らぶちゃん」は、学生図書委員の先輩が考案され、委員のメンバーによって描き継がれています。図書館内にいたり図書館新聞の表紙にいたり、いろんならぶちゃんがいるので、読んでくださってるあなたも描いてみませんか？



## 先生おすすめの1冊

司書課程の講義を担当されている先生方に、おすすめの本を教えてくださいました。  
木内先生、床井先生、ありがとうございました。

### 地域文化学科

木内公一郎先生(図書館情報学)

『Dark Horse: 好きなことだけで生きる人が成功する時代』

著者: トッド・ローズ、オギ・オーガス、大浦千鶴子訳

出版年: 2021 出版社: 三笠書房

東京のラジオ局 J-WAVE の番組「Bibliotheca: the Weekend Library」(図書館長: 山口周、図書館司書: 長濱ねる)で紹介されていた本です。

ダークホースとは型破りなルートで自分の好きなことを職業にして、成功した人たちのことです。学生の皆さんは大学を卒業したら、好きでもない仕事に就いて頑張っているといけないと考えていませんか。それは間違いです。例えば、星を見ることが好きだった女性は高卒にもかかわらず天文学の研究者になりました。そこに至るまではここでは説明しきれない長い過程がありましたが、その女性は独自の戦略で道を切り開いていきました。この本では個人の「本来の自分であること-充足感」を大切にしながら、道を切り開く方法が書かれています。決して一部の幸福な人たちのお話ではありません。そしてダークホースたちには「いくつもある機会(チャンス)のうち、本当の自分自身にぴったりと合うものを選んだこと」(p.52)という共通点があるそうです。もっと詳細を知りたい人は自分で読んでみてください。

なおこの本はハーバード教育大学院「ダークホース・プロジェクト」という学術研究の成果を元に書かれています。単なる経験談ではないことを付け加えておきます。



## 文化情報学科

床井啓太郎先生 (図書館情報学・書誌学)

### 『伝奇集』

著者: J.L.ボルヘス

出版年: 1993 出版社: 岩波書店

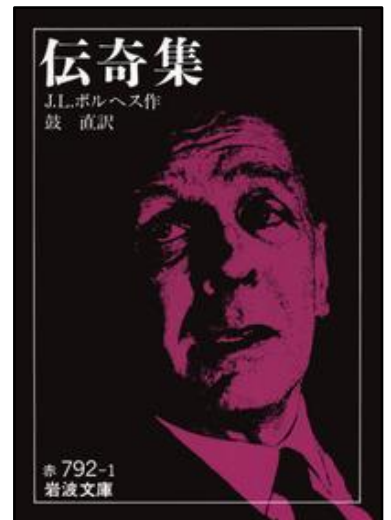
『伝奇集』は、アルゼンチン出身で、20 世紀のラテンアメリカ文学を代表する作家のひとりであるホルヘ・ルイス・ボルヘスによる短編集。独特の筆致で綴られた 17 の小品が収められている。

収録作品のひとつである「バベルの図書館」は、あらゆる文字の組み合わせからなる無数の書を収蔵する図書館の物語。無意味な言葉の羅列が続くなか、どこかに自らにとって意味のある一冊があることを信じて、無限に続く塔を遍歴する司書の姿が描かれる。

「記憶の人、フネス」は、落馬事故をきっかけにすべてを個別に記憶するようになった男を描く。三時十四分に横から眺めた犬と三時十五分に前から眺めた犬を、「一匹の犬」という概念に収斂させることができない姿は、翻って我々が逃れ得ない一般化、抽象化の軌を再認識させる。

ボルヘスの作品は、単なる奇譚(=不思議な話)として楽しめる一方、一見荒唐無稽な筋立てを通じて、私たちの無意識下に沈む、世界を認識する枠組みそれ自体を照らし出す。読み手に応じてプリズムのように異なる側面を見せる点も、その魅力のひとつといえよう。

異国情緒と幻想に満ちた世界に遊びながら、ボルヘスの作り上げた知的な迷宮を是非たどってみてほしい。



# 学生図書委員おすすめの1冊

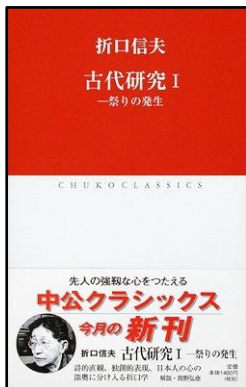
## 『プシュケの涙』

著者：柴村仁

出版年：2010 出版社：メディアワークス文庫

ある日クラスメイトが身を投げて自殺した、その真実にたどり着く物語。ミステリーかと思いきや最後のどんでん返して一筋縄にはいかない物語、その内に隠れた恋のお話がはらはらドキドキしながらも切なく美しく大好きだからです。由良彼方に気づいたらすぐすぐ惹き込まれます。

(地域文化学科3年 嶋田光紗)



## 『中公クラシックス 古代研究 I～4』

著者：折口信夫

出版年：2002～2004 出版社：中央公論新社

折口信夫の二十年来の研究の集大成が見られる。日本人の心の原点を探る一冊。

(地域文化学科3年 津村康太)

## 『マカン・マラン 二十三時の夜食カフェ』

著者：古内一絵

出版年：2015 出版社：中央公論新社

この本は商店街の裏路地で夜中にひっそりと営業している夜食カフェの「マカン・マラン」を舞台に悩みを抱えたお客がお店と出会い、手料理と言葉に背中を押されるというストーリーで進んでいくシリーズ本です。店主は元エリートサラリーマンにしてド派手なドラッグクイーンのシャールさん。そんな店主にも秘密が、お客にも悩みが。

高校生の頃この本を読んで、この本に出会えてよかったと心から思えた思い出に残る本です。この本には、たくさんのおいしそうな手料理と様々な悩みが登場します。共感できない悩みもあるかもしれない、だけどきっと心に響く言葉や心を軽くしてくれる暖かい言葉が見つかるはず。この本は必ずシリーズに沿って読み進めていくことをおすすめします。シャールさんの秘密も分かるかもしれません。

(地域文化学科2年 亀瀧琉那)





## 『歪んだ幸せを求める人たち』

著者：宮口幸治

出版年：2024 出版社：新潮社

「幸せになりたい」。この思いは私たち誰もが求めるものだと思う。だが幸せを追求しすぎた結果、逆に幸せから遠ざかり不幸を招くことがある。非行少年の中には幸せを求め歪んだロジックの元行動してしまう者もいる。本書を読むことで、少し理不尽な世の中でも心に余裕を持ちながら幸せの道を歩んでいく方法を見いだせると思う。

(地域文化学科 1 年 上村咲)

## 『新世界より』(上)(下)

著者：貴志雄介

出版年：2008 出版社：講談社

私のおすすめ本は、「新世界より」です。この本は、遠い未来の日本が舞台の SF です。この物語で私が特筆したいことは、全編をとおしてはびこる不気味さが巧みであるところです。たとえ平穏な場面であっても、奇妙な気持ち悪さがあり、それが逆に癖になり、次へ次へと目を進めていってしまいます。

また、不気味さにも、種類があります。語り手の子供時代を描いた上巻の不気味さは、何も明らかになっておらず、いつ自分に禍が降りかかるかわからないがゆえの不気味さですが、大人時代を描いた下巻は、謎が明らかになり、自分に何が降りかかっているかわかっているからこそその不気味さです。

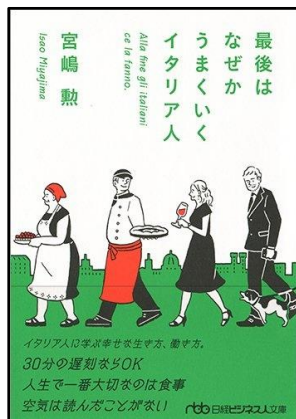
しかし、不気味なままでは終わりません。謎は回収されて、終わりはしっかりまとめられます。

この本は一度読み終わって、また読み返すと、あらたな感情が浮かんでくる傑作だと思います。ぜひ読んでみてください。

(地域文化学科 1 年 谷口天)







## 『最後はなぜかうまくいくイタリア人』

著者：宮嶋勲

出版年：2018 出版社：日本経済新聞出版社

とある日本人が仕事の関係でイタリアと日本の往復生活をしている中、イタリア人の自由さに振り回されつつ、全く違う価値観に触れ、そこから学んだことが書かれている一冊です。

学業にバイト、人間関係など忙しい中、頑張っていると思います。しかし、それは結構疲れることで、気分が落ち込んでしまったり、考えすぎてしまったりときがあると思います。そういう時にぜひ読んでほしいです。真面目で謙虚という日本のステレオタイプの真逆で、陽気で情熱的なイタリア。そんなイタリアを知ると、「こんな生き方もあるんだ」と少し気分が楽になります。

全く違う生き方を知れるだけでなく、イタリア人のトリセツがわかります。将来イタリアで働く可能性はゼロではないので、今のうちにイタリア人の生体を知っておくのもいいかもしれません。

(地域文化学科 1 年 鈴木亜依)

# 卒業生から一言

3月に卒業する学生図書委員のメンバーに、コメントをもらいました。

4年間お世話になり、ありがとうございました！

## 保育教育学科 山岡小春さん

「大学では新しいことをやってみたい」という思いから学生図書委員に入り、4年間活動してきました。コロナや実習で、思うように活動が出来なかった時もありましたが、学生図書委員の活動はどれも楽しかったです。活動や図書館祭を通して、司書の皆さんや他学科・他学年の学生とたくさん交流できたことが嬉しかったです。

また、活動を通して様々なジャンルの本に出会い、本が今までよりも好きになるとともに読書の楽しさを改めて感じる事が出来ました。

大学卒業後は保育の道に進むので、絵本と出会う機会が今よりも多くなると思いますが、これからも本との出会いを楽しみながら過ごしたいなと思います。最後になりますが、司書の皆さん、学生図書委員の皆さん、4年間ありがとうございました！

## 保育教育学科 平川瑞希さん

学生図書委員会には1年生から4年間活動させていただきました。

私のこれまでの活動は「出会い」という言葉がキーワードになっているのではないかと考えています。選書活動やおはなしレストランと連携した活動を通じた新たな本と出会い、他学科の学生や司書の皆さん、活動に参加して下さった方との出会い…出会いで溢れた日々でした。関わっている多くの皆さんが温かく接して下さったことで、楽しく活動することが出来ました。そして、学生図書委員会の一員として活動することが出来てよかったなと思います。

この活動を通して学んだことを、今後の進路や子どもたちとの関わりに生かしていきたいと思っています。本当にありがとうございました。

## 地域文化学科 江角咲乃さん

学内のサークルに所属していなかった私にとって、学生図書委員会での活動は、他学科の人や他学年の人と関わりを持つことができる貴重な時間でした。4年間の活動で、たくさんの人と関わったことをとてもうれしく思っています。振り返ると、「これが一番印象に残っている」という活動があるというよりは、活動を通じてできた人とのつながりが私にとってとても大きいものだったなと思っています。

大学生活は、長かったようで本当にあっという間でした。卒業して学生図書委員会を離れることはさみしく思いますが、ここで得たつながりをこれからも大切にしていきたいです。最後に、どの活動も楽しんで取り組むことができたのは、司書の皆さんの手厚いサポートや心遣いがあったからこそでした。とてもとても、感謝しています。関わって下さった皆さん、本当にありがとうございました！

### 地域文化学科 田中夕季さん

図書委員に入ったことで「本を読むこと、触れることって楽しいな」と改めて気づきました。大学の講義でも本に関するものもありますが、モニターなどの画面を通してではなく、実際の本を手取る、本があふれた空間へ行くといった、直接ものや空間に触れる機会は委員会での活動の方が多かったと思います。活動の中で、特に選書は自分の読書時間が増えたきっかけです。書店に行き直接選ぶことで、普段興味がないジャンルでも表紙が綺麗だから手に取ってみようと思ったり、選書した本の紹介POPで他の委員会メンバーが選んだ本も気になったり、新たな本に出合う時間になりました。

他にも楽しかった活動の思い出はたくさんです！今、図書委員会に入っている人も、そうでない人も本に触れることを楽しんでもらえたらいいな～と思います。

### 地域文化学科 関桃香さん

学生図書委員会として4年間の活動を通して、様々な人と知り合い、今までになかった経験を色々とすることができました。特に印象に残っているのが、飛鳥祭での図書館祭です。今まで図書館というものは、水気厳禁、飲食禁止の静かな場所という印象を持っていました。しかし、図書館祭当日は、館内でヨーヨー釣りなどの水を使ったコーナーや、食べ物の販売を行い、とても賑やかに音楽が流れていて、多くの来館者に楽しんでもらうことができていました。図書館でこのようなことをすることができるのだととても驚いた覚えがあります。

また、商業高校交流会での高校生との交流や、3キャンパス交流会で、出雲や浜田の学生との交流など、様々な人と関わりを持つことができました。

途中、忙しくて図書委員会の活動にほとんど参加をすることができない時期もありましたが、4年間図書委員として活動をすることができて、本当に楽しかったです。長いようで短い学生生活、たくさんの事に挑戦をして、楽しんでください。今まで色々とお世話になりました。ありがとうございました！





# 図書館展示特集

2024 年に図書館で行われた展示をまとめました。

## \*「ハリーポッター」(1・2 月)

雪がたくさん降るこの季節に、ぴったりの展示が行われていました。

USJに加えて、アジア初のハリーポッタースタジオツアーが東京にできるなど、長く愛され続けるこの作品は、県大生の中にも多くのファンがいるのではないのでしょうか。

寒い時期でもぼかぼかな図書館にあるこの展示には、原作のシリーズはもちろん、ファンブックや解説本、撮影地であるイギリスに関する本もありました。世界観を味わえるペーパークラフトにも思わず立ち止まってしまう、迫力ある展示でした。



## \*「島根の“癖祭” (くせまつり) 」(3・4 月)

3～4 月には、島根の癖が強い祭りを紹介する展示が行われていました。住んでいても意外とまだまだ知らないことがあるんだなと思うと同時に、島根ってこんなにたくさん祭りがあったんだと驚いた人もいます。

祭りに加えて市町村のパンフレットなども展示されており地元を見つけてほっこりした気持ちになりました。

島根の癖祭は「しまね十九」という冊子に掲載されているそうなので、そちらを見て、興味のある祭りに参加するのも楽しいかもしれません。



## \*「小説書き出しコンテストに参加しよう」(5・6 月)

5～6 月は 6 月 3 日から始まった 3 キャンパス図書館合同企画「小説書き出しコンテスト」の関連展示が行われていました。

ミステリー、恋愛、恋愛(失恋)、青春、冒険の 5 つの部門から 1 つ選択し、タイトルと 54 文字以内の書き出しを考えようというコンテストで、図書館内で 115 作品が競うキャンパス代表戦が行われるなどと、静かではありますが熱く盛り上がっていたように感じます。

応募作品は、本当に書店や図書館に並んでいても違和感がないほど、ずっと心に入ってくるような素敵な書き出しばかりでした。





## \*「モキュメンタリー」(7~9月)

7~9月はひんやり涼みたい季節にぴったりのモキュメンタリーに関する展示が行われていました。

モキュメンタリーとは架空の事実をドキュメンタリーの手法を用いてさも事実であるかのように表現した作品のことです。怖いけど、でも気になってしまう!そんな本がたくさん展示されていました。

今回の展示には本を紹介するモニターも設置されており、時折音声も流れて、近づくとゾクゾクする雰囲気が漂っていました。



## \*「つくってみよう!豆本」(10・11月)

10~11月は豆本に関する展示が行われていました。

豆本とは、手のひらに収まる程度の小さな本のことで、昔の豆本からガチャガチャに入っている豆本、豆本に合わせた家具まで並ぶ、とても可愛い展示でした。

その中でも、出雲市にある「吾郷屋」というアートギャラリーで作られた豆帳と呼ばれるメモ帳が特に可愛らしかったです。「吾郷屋」では、お手製本や紙を使った様々な手作りの品が展示・販売されているそうです。

豆本づくりは、これからの新しい趣味にもぴったりだと感じた展示でした。



## \*「紅白図書合戦」(12・1月)

12~翌年1月は、学生図書委員企画の紅白歌合戦を行いました。

学生図書委員が紅組と白組に分かれて、各々のおすすめの本とPOPを展示します。どちらの組がより面白い本を紹介しているか、利用者の皆さんに投票をしてもらいます。

結果は、紅組 64 票、白組 46 票で、紅組が勝利となりました!

個性豊かな本とPOPを並べることで、普段読まない本と出会えるいい機会になると思うので、読書の幅が広がるきっかけになったらうれしいです。1年を締めくくり、新年へと続く素敵な展示になりました。



## 2024 年度の活動記録

### ビブリオバトル

\*実施日:6/24(ブロック予選1回目)  
8/7(ブロック予選2回目)  
11/9(ブロック予選3回目)  
11/20(ブロック決戦)

\*実施場所:図書館ラーニングコモンズ、おはなしレストランライブラリー、石見銀山まちを楽しくするライブラリー



今年度は、例年通り予選を3回行い、2回目は県立大サテライトキャンパスの「石見銀山まちを楽しくするライブラリー」で、3回目は「おはなしレストランライブラリー」にて、絵本か児童書をテーマに行いました。系のメンバーの協力もあり、当日はスムーズにビブリオバトルを進行させることができ、バトラーの方々や観戦者の方々にも楽しんでいただけたと感じています。

また、今年は県立大浜田キャンパスにて開催された、全国高等学校ビブリオバトル島根県大会の運営補助もしました。

(文化情報学科1年 木下)

### おはなしマラソン おはなしクイズ

\*実施日:おはなしマラソン 7/13~9/1  
おはなしクイズ 12/26~1/26

\*実施場所:おはなしレストランライブラリー



おはなしレストランライブラリーの利用者さんが対象のイベントで、おはなしマラソンはおはレスの好きな本でポップを描いて提出してくれた枚数によりメダルをプレゼントする、おはなしクイズは、おはレスにある絵本で作ったクイズを解いてもらい、正解したクイズのレベルによって認定証を渡す企画です。

私たちは、それぞれのイベントのポスターやポップの用紙、景品のメダルや葉、賞状や認定書を作りました。おはなしレストランライブラリーの司書のおふたりにご協力していただき、たくさんの利用者さんに楽しんでもらうことができました。

(地域文化学科2年 石田)



## 3 キャンパス 学生図書委員交流会

\*実施日:8/9

\*実施場所:出雲キャンパス図書館



松江、出雲、浜田の3キャンパスから学生図書委員が集まる交流会が、今年度は出雲キャンパスで開催されました。

交流会では、3キャンパスの垣根を越えて編成されたグループで活動しました。

午前は、大盛り上がりのグループ対抗ゲームと、出雲キャンパスの施設見学をしました。普段入ることのない出雲キャンパスの教室や体育館などを見学することができて、新鮮で楽しかったです。

午後からは、グループごとに各キャンパスの活動報告と、それぞれが持ち寄った「紹介したいこの1冊」をグループの中で発表しあいました。「紹介したいこの1冊」の発表では、1冊の本の紹介を通して、その人の好きなことや、経験、大切にしていることなどを知ることができて、グループの仲がより深まったと感じました。

(地域文化学科4年 江角)

## 本の貸出福袋

\*実施日:福袋 4/12~

シークレット文庫 7/16~

福袋 11/25~

\*実施場所:図書館閲覧室



今年度は合計3回にわたり、貸出福袋を実施しました。

恒例の福袋企画だけではなく、新しく「シークレット文庫」に挑戦しました。これは、本のあらすじや紹介文を書き、その内容に惹かれたものを借りてもらいます。約60袋用意しましたが、早いペースで完売しました。

自分の紹介したい本を限られた文字数の中でどのように伝えるか、メンバー各々が試行錯誤したと思います。結果、誰かの興味を引き、完売することができました。からになった棚を見て、胸が温くなる心地がしました。

(地域文化学科3年 系賀)

## イベント企画・実行

\*実施日:5/24(歓迎会)  
6/21(ボードゲーム会)  
9/18(BBQ)  
9/27(石見銀山)  
2/13(送別会)

\*実施場所:図書館ラーニングコモンズ、石見銀山まちを楽しくするライブラリーなど



新しいメンバーの歓迎会や、ボードゲーム会、BBQ、卒業するメンバーの送別会などを企画しました。

夏休みには、「石見銀山まちを楽しくするライブラリー」に行って、そこで実施したら楽しそうなイベントをみんなで考えました。その中で、天体観測やカフェメニュー考案、キャンドルライト、探検、ぼーっとする大会などの楽しそうなイベント案がたくさん出ました。

今後も、みんなが楽しいと思えるようなイベントを考えて、実施していきたいです。

(地域文化学科 3 年 生駒)

## 商業高校交流会

\*実施日:7/2、12/13  
\*実施場所:図書館ラーニングコモンズ、松江商業高校図書館



1回目は、7/2に松江商業高校の生徒を大学にお招きしました。図書館とおはなしレストランライブラリーの見学、お互いの活動報告、図書館全体を使ってグループ対抗の宝探しゲームを行いました。

2回目は、12/13に商業高校の図書館に伺いました。チームに分かれ、漢字1字から四字熟語を見つけるゲームや、題名の文字数を組み合わせ指定の数にするゲームを行いました。また、ミシンを使ったブックカバー作りや、ペットボトルキャップを使った栞づくりを行いました。

どちらも商業高校の生徒と大学生が協力し、白熱したゲームを繰り広げ、和気あいあいと交流を行うことができました。

(地域文化学科 4 年 関)



## 図書館祭

\*実施日:11/9、10

\*実施場所:図書館



飛鳥祭の2日間、学生図書委員会の出店として、図書館祭を行いました。ヨーヨー釣りやスーパーボールすくい、輪投げ、ストラックアウト、探検などのゲームや古本・しおり販売、ワッフルの販売など、様々なコーナーを図書館内に作り、運営しました。

去年以上に来場してくださる方が多く、どのコーナーも大変だったかと思いますが、みんなで協力をして、来てくださった方々に楽しんでもいただける図書館祭になったのではないかと思います。

また、卒業生の方にもたくさん手伝っていただきました。ありがとうございました。

(地域文化学科3年 岩澤)

## 図書館新聞

\*製作期間:11月~3月発行



図書館新聞の活動では、例年の図書館新聞の内容を元に、メンバー間で話し合い、本年度の新聞の構成を考えました。担当ページごとに、それぞれが作成した後、ひとつの新聞として発行しました。

私は、卒業生からのメッセージを担当したのですが、先輩方から学生図書委員として活動したことでの経験や出会いからの喜びの声が聴かれ、学生図書委員のとして活動することの楽しさを改めて実感するとともに、活動の集大成としてこの新聞を作ることの出来る喜びを感じました。

(地域文化学科3年 津村)

## 編集後記

### 【表紙】

地域文化学科 1 年 谷口天

図書館新聞の表紙を書きました。本を開いて読み進めていくときのワクワク感を表現しようと考えながら書きました。それが表現できていればうれしいです。この一年間学生図書委員会の活動をして、いろいろと楽しい経験ができてよかったです！

### 【おすすめ本ページ担当】

地域文化学科 1 年 上村咲

私はおすすめ本のコーナーを担当させていただきました。今回は、学生図書委員のおすすめだけでなく、先生方のおすすめ本も紹介しています。注目ポイントなので、ぜひお手に取ってみてください。また、紹介されているおすすめ本を見て、普段なら選ばないような新しい本との出会いがあると嬉しいです。

### 【おすすめ本ページ担当】

地域文化学科 1 年 鈴木亜依

初めて図書館新聞に関わらせてもらいました。そりゃそうです。1 年なので。先代のおすすめ本紹介コーナーがおしゃれで、引き受けてからやめたいなと思ってしまいました。今回クオリティが低いと感じるかもしれませんが、機械音痴な 1 年が頑張って作ったものなので、温かい目で読んでください。ただ、編集よりも先生方にご協力頂けるか伺うメールが 1 番大変でした。正しい敬語や言葉の言い回し等、学がないため怒られたらどうしようって気持ちでした。しかし、やはり先生方は寛大なので怒られませんでした。一安心です。

### 【展示特集ページ担当】

地域文化学科 2 年 亀瀧琉那

今回は初めての企画である「図書館展示特集」を担当させていただきました。図書館新聞の係になった時からずっと時期ごとに代わる展示コーナーを 1 年分まとめてみたいと考えていたため、特集を作成するのがとても楽しかったです。この特集を見て 1 年を振り返ってみたり、これからの図書館の展示コーナーに足を運んだりするきっかけになれば嬉しいです。他にもおすすめ本やクイズなど各担当が力を合わせて作り上げた図書館新聞を楽しんでいたかったです。

### 【クイズ担当】

地域文化学科 3 年 嶋田光紗

はじめて図書館新聞に携わらせていただきました。読んで楽しんでもらうにはどうすれば良いかを考える中で、自分も作っていて楽しいと思いながら書くことができました。おすすめの本について、自分がとにかく読んで!と思う本を紹介してしまったので、こんなときに読みたい本、こんな人に読んでほしい本、のようないろんな人に届くような紹介もしてみたいです。すごくいい経験が出来たので、来年もまた様々な場面で図書館や図書委員会に関われたらと思います。

### 【活動記録ページ担当】

地域文化学科 3 年 岩澤有紗

2 年連続で図書館新聞に関わらせていただき、光栄です。私は活動記録を担当しました。学生図書委員の活動について知っていただく機会になれば幸いです。

### 【編集長・卒業生ページ担当】

地域文化学科 3 年 津村康太

私は卒業生からのメッセージを担当しました。これまでの言葉を振り返る言葉のあちこちに学生図書委員で活動できたことへの喜びが感じられ、また来年からも頑張ろうという気持ちになりました。

今年度の図書館新聞では、新たなページも取り入れました。読者の皆さんに楽しんでいただければ幸いです。

# 図書館新聞 —Library newspaper—

2025 年 3 月 1 日 初版

編者 学生図書委員図書館新聞チーム

表紙絵 谷口天（地域文化学科 1 年）

発行者 松江キャンパス図書館学生図書委員

発行所 島根県立大学松江キャンパス図書館

島根県松江市浜乃木 7-24-2

Tel 0852-20-0203

